

## 10月から資源化物の全品目月2回ステーション収集がはじまりました

### ●ごみ収集の実情を視察しました

11月2日野殿事業所を訪問し、ごみ収集の視察を行いました。月2回収集について、市民の皆さんからの問合せが多かったからです。ていねいに効率のよい作業。ごみステーションは同じ形状のものがないと感じられるほどバラバラでびっくりしました。交通事故と怪我がないように、安全第一です。視察エリアはコーポやマンションが多い地域。不適正排出は少なくありませんでした。学生も含めて単身者世帯への啓発は課題です。



作業後、現場の声も聞きました。今まで可燃物だけだった野殿事業所に、10月から資源化物回収の仕事が加わり、研修や工夫を重ねている最中とのことでした。

●昨年度と今年度の10月の収集状況  
可燃ごみ(資源化物混入率10.4%/2013)、不燃ごみ(同14.5%)に混入している資源化物の量を減らすためにスタートした月2回収集。昨年度10月と今年度の速報値を比較すると、可燃ごみ収集量は0.4%、不燃ごみは9.9%減。缶は11.6%、びん・乾電池は7.8%、古紙・古布は9.9%の増。現在は月2回収集への移行途上ですので、それなりの成果があがっているように思います。

### ●使用済小型家電の回収・リサイクルが1月から

これまで主に不燃ごみで出していたものが、協力店や区役所などで回収されることになりました。詳しくは、岡山市HPか岡山市環境局(086-803-1298)まで。



●ご存知ですか? ◆フィンランドの「ネウボラ」  
なんと可愛いフィンランドの「マタニティ・パッケージ」。「さんかく岡山」ギャラリーに11月に展示されました。フィンランドでは妊娠が確認されると、このパッケージが現金約2万円のどちらかをチョイスして申請するそうです。妊娠期から就学前にかけて、保健師の方が家族との対話のなかで、切れ目のない支援をする「ネウボラ」という制度の一環です。「ネウボラ」。岡山市も学んでいきたいですね。



編集後記 ★高齢者の皆さんと、津島福居の「いきいきサロン福寿会」。11月は新年の干支作り。不器用な私も応援をうけて作ることができました。★心も体もあったかな羊のような一年にと。



## のぞみ日誌から

### だっぴ30(高校生・大学生)×30(社会人)

「だっぴ」とは、「進路や働き方を模索する若者」と「社会をつくる魅力的な大人」が交流する場とのこと。10月12日に社会人ゲストとして参加をしました。たくさんの若者たちと出会い、刺激あふ、未来をつくる感謝の一日でした。ていねいな準備が素晴らしいです。

### 祝!京山中学校40周年、つしま幼稚園50周年

10月16日に京山中学校40周年、11月22日につしま幼稚園50周年記念の会があり、参加をしました。両校園には、いろんな機会に訪問をさせていただき、私自身もたくさんの学びと感動をいただいています。校歌、園歌もバッチリ歌えますよ。今もこれからも楽しみです。

### 祝!AMDA設立30周年を祝う会

11月30日、海外30のAMDA支部や海外支援団体からの海外ゲストを含めて、30年間、AMDAに関わってこられたいろんな皆さんが心から喜んで集まっておられる素晴らしい「祝う会」でした。私もたくさんの友達に久しぶりに会えて興奮。嬉しかったです。



### 学童保育充実を求める署名を市長に

12月2日、岡山市学童保育連絡協議会の皆さんが、「しょうがいのある子どもの学童保育制度の充実を求める署名」32,175筆を市長に直接提出。市議会議長にも要望しました。私は議長要望から同席。静養室・シャワーの設置や指導員の増員などが強い要望。当事者の声、しっかりと受けとめてほしいです。

### 善隣館クリスマス会

12月20日、善隣館(児童養護施設)のクリスマス会に参加。生まれてはじめて、トナカイさんの姿になりました^^。みんなで歌って、近隣の高齢者の皆さんへのリースを作って(子どもたちは届けました)、美味しいランチ(子どもたちの手作りピザあり)を一緒に。子どもたちの笑顔とパワーが私へのプレゼントでした。



岡山市議会議員

会派:市民ネット

No.31

2014年11月議会報告

# おにきのぞみ

## 虹色通信

2015年1月発行



事務所 〒700-0971 岡山市北区野田5丁目8-11 かつらぎ野田ビル2F  
TEL 086-242-5244 FAX 086-244-7724  
自宅 岡山市北区津島福居2-16-12-2 TEL/FAX 086-254-5262  
Email:hopequal@po7.oninet.ne.jp http://yaplog.jp/niji\_oni/



## いのち・みどり・平和が大切にされる街を

2015年は、戦後70周年という節目の年。今年ほど「平和」を希求して迎えた年はありません。

### ESDを世界共通の文化にしよう

2014年11月、岡山市に世界97カ国から約3,000人が集まって、ESD世界会議が行われました。出会った世界各国の皆さんから「岡山はステキな街だ」「地域に根ざしたESD活動は素晴らしい」とお聞きしました。

ユネスコスクール世界大会/全国大会では開会宣言を、津島小学校と伊島小学校の生徒たちが、50年先の地球と遠くの地の友たちに思いを馳せて行いました。三門幼稚園の子どもたちは、ESDメッセージソングを踊って開会式を彩りました。

そして「ESD大賞」文部科学大臣賞に京山中学校が選ばれました。生徒たちが、京山中学校のESD活動を通して成長する姿をみきましたし、私自身の学びも大きく、感慨ひとしおでした。

とはいえ、世界会議に参加できた市民は限られています。岡山市ではESD世界会議の成果を市民参加でまとめて発信し、来年度以降の活動にいかしていくということです。市長も、岡山市が

リーダーシップを発揮しながら、ESDが世界共通の文化となるよう貢献していくと述べています。市のあらゆる施策に、今、誰もが安心して暮らすことができ、未来にむかっても「持続可能」であることが必要です。

### 平和な岡山の街づくりを

ESDにとって大切なキーワードは平和です。しかしながら日本をみると、投票率が史上最低であった12月の衆議院総選挙において、自民・公明の与党は2/3以上の議席を獲得し、いよいよ戦争をする国づくりへと進もうとしています。4月の統一地方選挙が終われば、政府は集団的自衛権関連の法案を提出することです。さらに安倍首相は憲法改定に前のめりとなっています。

世論調査で特定秘密保護法や集団的自衛権の容認、原発再稼働への反対が多数でも、選挙結果に反映できなければ、止めることは容易ではありません。地方議会も関わりがあります。私たちが選んだ議員がどんな考えをもつ議員なのか。しっかりとみとめておく必要があります。

ESD世界会議オープニングセレモニー ↓



いのち、みどり、平和が大切にされる街を、2015年もみなさんと一緒につくっていきたいと思います。

おにき・のぞみ



## 11月議会 個人質問から

質問項目

1. ESD 世界会議の成果をふまえて
2. 自転車左側通行の徹底を
3. 子ども・子育て支援施策、男女共同参画施策
4. 新斎場～環境調査について～



大森市長就任から一年余り。11月議会では、ESD世界会議の成果をふまえて、これからの岡山市のあり方を問う質問、子ども子育て新制度移行をひかえて子どもにまつわる質問が多かったです。イオン岡山オープンを迎えての街中の活性化とともに「周辺」地域の課題も相次ぎました。そして市長は、自治体の根本である「基本構想」を全面改定し、新しい総合計画を2016年度に策定することを表明。市民参加での改定が望まれます。☆組織については、市民協働局(仮称)という新しい局を設置するとのこと。

### ESD世界会議の成果をふまえて

ESD世界会議については多くの議員から質問が出されました。100点満点と自己採点をした市長。世界会議についてはアーカイブ(記録保存庫)化し、今後にいかしたいとのこと。

来年度以降の取り組みとしては、「新岡山ESDプロジェクト基本構想」を策定中。組織については、市民協働局(仮称)が中心となって支えていくが、世界会議にむけて作った推進本部に代わってどのような体制でいくのかは検討するとのこと。ユネスコはこれから5年間のESD推進プランとして、全機関的アプローチをあげています。岡山市でも、本来は「ESD見える化推進事業」を発展させ、全庁的な取り組みを行うべきだと考えます。

### 子ども・子育て支援の充実を

①子ども医療費助成制度の拡大について、岡山市は2016年度から、小学校1～6年生の通院費を3割から1割負担に軽減することになり、11月議会で条例改正を行いました。しかしまだ県内では最低レベルです。

②岡山市国公立幼稚園PTA連合会が行った保護者アンケートによると、現在の公立幼稚園に望むものとして、3歳児保育

34.9%、延長保育57.7%とあり、切実なニーズです。岡山市は認定子ども園移行により対応とのことですが、未だ時間が必要。その間を埋める対応が望まれます。③子どもが発達障がいではないかと気づいたとき、保護者への十分な情報提供が必要です。現状では、まとまって提供されるものがなく、困っておられる場合があります。「ひか☆りんく(岡山市発達障害者支援センター)」のホームページの工夫や冊子作成を求めました。見直しを検討するという事です。

### 岡山市は、人口10万人当たりの交通事故死者数が政令市ワースト1位

#### ●自転車は車道左側通行が原則

岡山市は2013年度の調査で、人口10万人当たりの交通事故死者数は4.77人と政令市で1位と最悪です。

なかでも、自転車。人口10万人以上の市と東京特別区289都市で、自転車に乗っている時の死傷者数は、10年間平均の人口10万人当たりの死傷者数で、岡山市は全国ワースト6位です。この調査結果について、「事故率が高い自治体の大半は、自転車利用が多いのに安全な走行環境が確保されていない。車道左側走行を徹底させる必要がある」という研究者からの指摘があります。

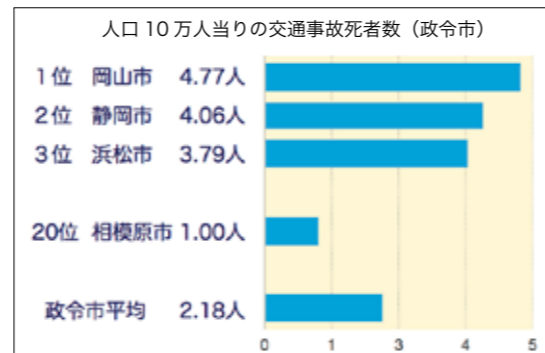
2013年12月に改正道路交通法が施

### 新斎場について

岡山市北区富吉に建設予定の新斎場について、「火葬場について考える会」から11月に住民監査請求が出されました。土地の取得費用4億3851万円は宅地相当の標準価格を設定しているが、有害物質が埋まるなど住宅には向かず鑑定額が高すぎる。土地の調査委託費4500万円についても市が負担すべきではない。として差額の返還を求めるものです。



ボーリング調査に私も一度立会いましたが、広大な敷地にわずか11本。土壤汚染対策法に基づく形質変更では、少なくとも100平方メートルに1箇所は必要とされています。住民の不安払拭には更に細かく行うべきだと質しましたが、現在の調査結果により判断するとのこと。



行され、自転車の路側帯通行は左側に限られるようになりました。歩道上は車道寄り徐行することも定めています。専門家は「安全対策では、専用の走行空間をつくるより、左側通行を徹底させることが重要」と指摘しています。

### 一人ひとりがもてる力を発揮し、参画できる社会を～まず、腕より始めよ～

#### ●市長のふたつの発言に拍手

◇11月議会で大森市長は、①岡山市男性職員の育児休暇取得率100%をめざす、②女性の管理職割合3割をめざすという発言をしました。

2013年度における男性の育児休業取得率は1.7%、育児休暇(出産後8週間に有給で最大5日休むことができる独自制度。子育て休暇)は29.9%です。また女性の管理職割合は2014年度で6.5%です。市長は将来的には実現可能な数字だと考えておられます。◇岡山市は「女性が輝くまちづくり調査」を企業と市民を対象に行い、10月に中間報告を行いました。

調査における「女性が働き続けるための課題」。企業も市民も上位3つは、①子育てや、家族の介護・看護を支援する公的制度の充実、②配偶者・パートナーの理解と協力、③企業における仕事と家庭の両立支援制度の整備・充実であり、環境整備と意識改革が求められています。市民アンケートでは、現在就労していない方の74.5%が就労を希望しています。

同じく女性の管理職が増えることに対して、市民アンケートでは、非常によい、どちらかといえばよいを合わせると94.3%。岡山市は女性管理職を受け入れ

る土壤があるといえます。

●岡山市男性職員の育児休暇100%を  
◇市役所では、仕事と子育ての両立のため、特定事業主行動計画を作り取り組んでいます。目標値は3つです。

岡山市特定事業主行動計画/目標(2014年度)に対する取得率(%)

	2011年度	2012年度	2013年度	目標
子育て休暇の取得率	32.8	45.5	29.9	60
男性職員の育児休業の取得率	0.5	1.3	1.7	5
管理職員に女性が占める割合	5.8	5.7	6.9	8

倉敷市では6つの数値目標を定め、行動計画では嘱託職員にも言及。超過勤務時間数を目標にしている自治体もあります。来年度から次期計画が始まりますので、目標項目を増やす、非正規職員についても盛り込むなど、積極的見直しを求めました。

◇女性が抱える大きな課題に、非正規労働の割合の高さと処遇の低さがあります。岡山市役所(2014):非正規職員中の女性割合は69%、女性職員中の非正規割合は43%。同一価値労働同一賃金が原則です。現実的にはまず、非正規職員の処遇改善、必要な部署への正職員適正配置(増員を含む)を。労働政策については討議を重ねたいです。

私は男女共同参画について様々な提案をしてきました。例えば今は、理解ある企業への公契約における配慮を求めています。これからも力を注ぎます。

#### ●実行戦略と並行して、郊外の整備を

2012年策定の「自転車先進都市おかやま実行戦略」における走行空間の整備は10年間で46キロ。岡山市の道路実延長距離は約6549キロですから、0.7%にすぎません。必要な道は他にないのか。これでは市民に自転車の基本的な乗り方の理解を得るのは難しいと思います。街の中心部だけでなく郊外においても、実行戦略と並行して整備を行うべきです。



↑整備された市役所筋

2013年度、県内で最も事故が多かつたのが大雲寺交差点、そして市役所前

の大雲寺交差点と続きます。大雲寺交差点では自転車と車の事故割合が高い。今年度、市役所筋の自転車道路整備が行われましたが、より工夫が求められます。

大森市長は、「一つには、この街が事故を起こしやすい構造になっているのでは。それを変えていかなきゃいけない。二つ目として、ルールの順守」と。市としても真剣に来年度何をするか考えさせていただきたいとの答弁でした。私たち自身もルールを守りましょう。

※2015年度から。☆マンションなど中高層建築にあたり、建築主に求められる周辺との事前協議の対象区域拡大。☆認可保育園入園の選考判断の点数加算項目に、育休明けや児童に障がいがある場合なども追加